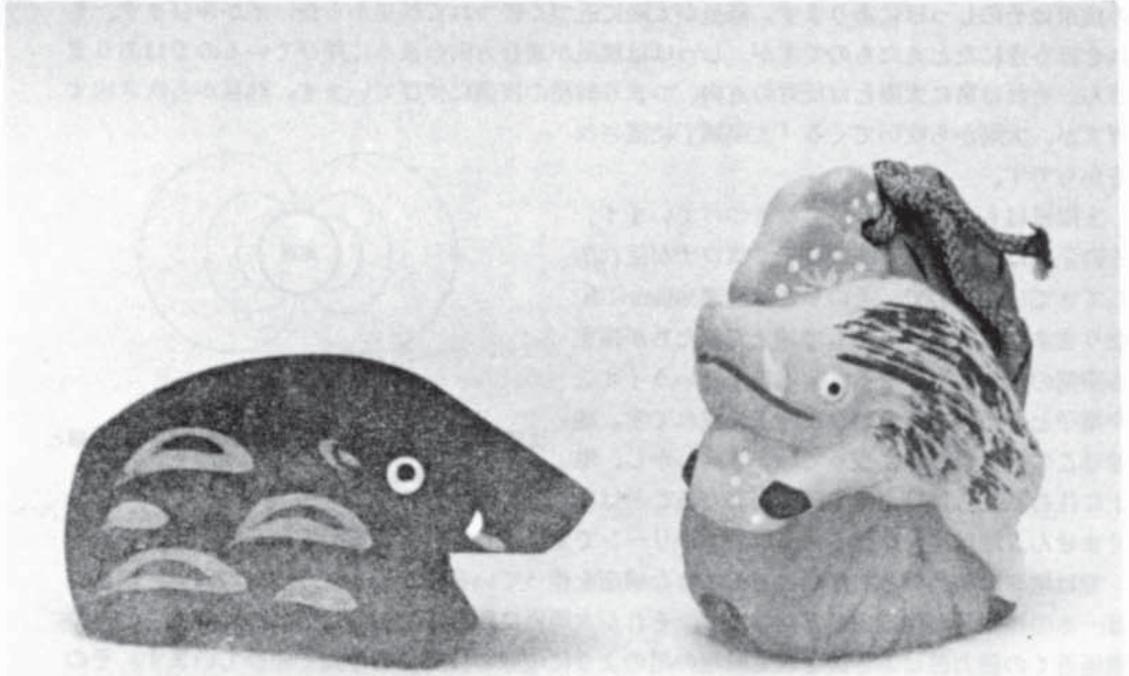




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'95 1月号



郷土玩具《鳥取のえと「い」・大津絵の十二支土鈴「亥」：館所蔵》

明けまして
おめでとう
ございます。

平成7年の新春を皆様と共に喜び申し上げます。本年もご支援・ご協力をお願いいたします。

■今年、「いのしし」。子・丑・寅・・・西・戌・「亥」と十二支中12番目の干支です。「猪」というすぐに思いつく言葉が「猪

突猛進」です。人それぞれですが、今年は干支にならって、何事にもわき目も振らず邁進するのもよいでしょう。

■平塚市博物館は、今年の5月で開館20年目を迎えます。昨年は、3階のプラネタリウム室の空調設備の改修を行い、ご不便をおかけしましたが、工事も無事終了し、より快適な環境の中でプラネタリウムを観覧いただけるようになりました。

■今年、終戦50周年目の節目を迎えます。当館でも「平塚空襲」を中心に特別展を企画し、現在準備中です。ご期待下さい。

■最後になりましたが、'95年が皆様にとって、素晴らしい年でありますように。

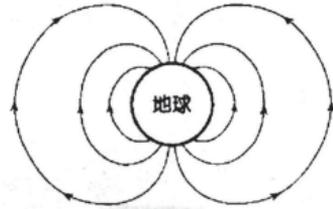
地球のしっぽ

1月14日～3月12日

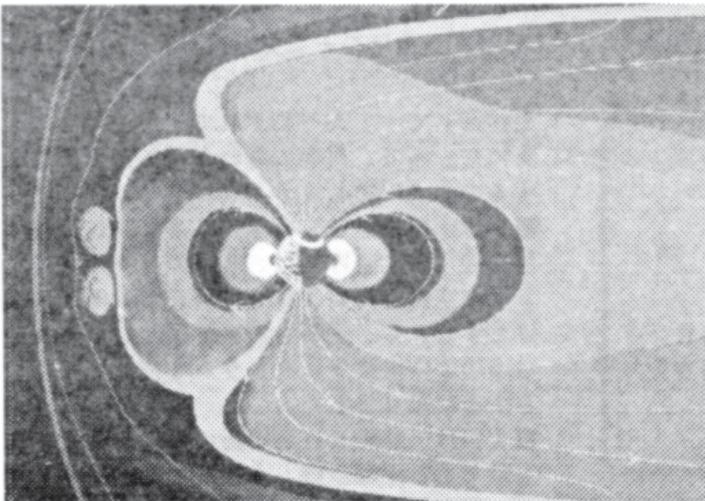
太陽系の仲間に、^{せいせい}彗星と呼ばれる天体があります。いわゆるほうき星です。ほうき星の名前の由来はそのしっぽにあります。彗星が太陽に近づくにつれて彗星から長い尾が伸びます。それをほうきにたとえたものですが、しっぽは彗星が進む方向の後ろに伸びているわけではありません。それは常に太陽とは反対の方向、つまり彗星の夜側に伸びています。彗星から吹き出すガスが、太陽から吹いてくる「太陽風」に流されるからです。

太陽風はもちろん地球にも吹きつけています。その正体は太陽の周りを取り巻くコロナが流れ出しているもので、その早さは秒速500kmにもなります。風、といっても地球上で私たちが接する空気の流れとは異なる、^{やでんりゅうし}荷電粒子というイオンや電子といった電気を帯びた粒子の流れです。地球はこの流れのなかに浸っています。しかし、地上に住む私たちには直接太陽風が当たることはありません。地球自身が作る磁力線のスクリーンで受け流しているからです。

では地球の磁力線と太陽風はどのような構造を作っているのでしょうか。地球の磁気、地磁気は一本の棒磁石が作る磁気と同じです。それが太陽風に押されて昼側はいびつになり、北極や南極近くの磁力線はふき流されて彗星の尾のように地球の夜側に長く長く伸びています。その長さは地球半径の3000倍以上、2000万キロメートルにもなります。もしも磁力線が目に見えるなら、きっと地球にも彗星のようなしっぽがついて見えることでしょう。



太陽風がなければ地球の磁場は棒磁石の磁力線と同じようになる。



地球を取り巻く磁力線の構造

もう一つ、地上の私たちは地球の磁力線と太陽風がもたらしてくれるすばらしい贈り物を見ることがもできます。それはプラネタリウムでお話することにしましょう。

- 投影日 : 土曜・日曜
- 開始時間 : 11時、14時
- 観覧料 : 1人 100円

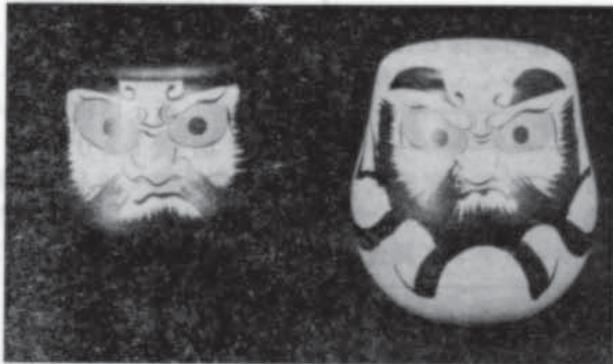
本間コレクション

〈木地玩具〉

1月7日
～29日

■一昨年(2011年)の8月に市内御殿在住の木地玩具コレクターの本間 満さんから、同氏所有の木地玩具が本館に寄贈され、『あなたと博物館：'93年10月号』に分類・整理中との記事を掲載しました。その後、本間さんの多大なご協力のもと分類・整理も一応終了し、「本間コレクション」と命名しました。

■1月7日(土)～29日(日)まで、寄贈品コーナーにてお正月にちなんで縁起物の木地だるまやだるま絵の描かれた木地玩具を中心に「本間コレクション」の一部を展示・紹介することになりました。



■木地玩具とは、轆轤くろくろで挽いた丸い木を組み合わせてできる木製玩具の総称です。本館に寄贈された木地玩具は、伝統こけし・木地だるま・江戸ごま・えぞこ・豆茶道具・各種こま(ひねりごま・もみごま・糸引きごま・当てごま・鳴りごま・逆立ちごま・吊りごま・ひも巻きごま・飛び出しごま等)・各種玩具(けん玉・ヨーヨー・だるま落としく正式名称は「輪抜きだるま」と言う)・輪投げ・やじろべえ・各種車類等)等多種多様にわたります。



■本間さんからは、その後も何度となくご寄贈いただき、現在総数は、1807点です。内訳は、伝統こけし：936本 木地玩具：743点 木地玩具に関する書籍・資料：66点 こけし工人直筆の色紙：62点にのぼります。その中から今回は、木地だるま：52点 伝統こけし：18本 こま：10点

木地玩具：30点

関連書籍類：10冊を展示・紹介する予定です。

■ここ神奈川県では古くから箱根・小田原・大山(伊勢原)の木地挽き技術がすぐれ、名品といわれるたくさんの「木地玩具」を産み出しています。

■明治・大正時代に東北地方(遠刈田温泉・鎌先温泉・青根温泉<宮城県>)では、小田原産の木地玩具の影響を受け、組み合わせ式のいわゆる「動く木地玩具」は、ほとんど全部といってよいぐらい小田原のものを大量に取り寄せて、職人たちがそれらをもとに、この地方に合うように作り直し、湯

治客らの土産物として店先に並べました。現在では、その主たる産地は東北地方に移っています。

■『東北地方の木地玩具のルーツは小田原にあり』と言えそうです。

(注) えぞこ：東北地方の山村では、昔、藁で作った「えぞこ」に幼児を入れて寝かせて育てました。その様子を轆轤で挽いて色付けし、その上に幼児の頭部をつけた東北特有の木地玩具も「えぞこ」と言います。

博物館カレンダー

1月の行事予定

7	土	○自然観察ゼミナール 「冬鳥入門」
14	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会 「スターウォッチング調査」
22	日	相模川の生い立ちを探る会 「相模野基線を歩く・相模原」
26	木	裏打ちの会
27	金	◎星を見る会 「冬の星座」 天体観察会 「スターウォッチング調査」
28	土	古文書講読会 天体観察会 「スターウォッチング調査」
29	日	古代遺跡を探す会
31	火	月末休館日

2月の行事予定

5	日	○自然観察ゼミナール 「冬鳥入門」 ○体験学習「日時計を作ろう」
12	日	古代遺跡を探す会
18	土	◎漂着物を拾う会 平塚の空襲と戦災を記録する会
19	日	相模川の生い立ちを探る会 「座間の湧水・座間市」
23	木	裏打ちの会
24	金	◎星を見る会「火星を見よう」
25	土	古文書講読会 天体観察会 「火星小接近」
28	火	月末休館日

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

1/7~1/29 寄贈品コーナー
＜本間コレクション：木地玩具＞
2/1~2/26 寄贈品コーナー
＜津久井湖・相模湖の
プランクトン写真展＞
12/3~1/8 プラネタリアム 「月面遊覧 II」
1/14~3/12 プラネタリアム 「地球のしっぽ」

会員募集◆体験学習「日時計を作ろう」◆

◇日時計を作ります。

開催日：2月5日（日）

時間：9：00～12：00

場所：博物館＜科学教室＞

参加費：200円

募集人数：20人（応募多数の場合は抽選）

申し込み：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、博物館「日時計を作ろう」係まで。＜一家族一通で可＞

締切：1月20日（金）

■漂着物を拾う会■

◇海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

開催日：1月14日（土）

2月18日（土）＜第3土曜日＞

時間：9：30～15：00

場所：平塚海岸・博物館＜科学教室＞

参加：自由

（花水川河口平塚側たもと集合）

備考：雨天時中止

★星を見る会「冬の星座」★

◇望遠鏡による観察を通して、天体及び宇宙に対する理解を深めます。

開催日：1月27日（金）

時間：19：00～20：30

場所：博物館屋上（博物館科学教室集合）

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

あなたと博物館 19巻10号 巻215号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています